

家を建てる前に読むべき、
たったひとつのこと。



私たちは外構のプロとして、
15年間、数えきれないほどの家づくりを見てきました。
そして、何度も目にしてきた現実があります。
10人中9人が、この現実苦しんでいる。

「ハウスメーカーの予算を信じ、
外構に予算が足りなくなり自己負担になること」

だから、私たちはこの文章を書いています。
外構予算を取ってほしいからじゃない。
そんな後悔を、これ以上見たくないからです。

この思いが、あなたの家づくりの
判断材料になれば幸いです。

Contents

第1章

まず最初に知ってほしいこと

なぜ外構のことを忘れてしまうのか？
外構を後回しにしてしまう？
絶対に押さえておきたいポイント

第2章

外構を意識しないと起こるトラブル

実際のお客様の事例

第3章

今までのお客様のスケジュール

外構を後回しにした人 vs 同時進行した人
どんなスケジュールがスムーズだったか

第4章

なぜ、一緒に進めるべきか？

予算確保・設計の統一感・機能性
デザイン性・トラブル予防

第5章

家づくりを成功させるための最適な進め方

家づくりと外構工事、タイムラインを知ろう
理想の予算配分とは？
外構業者との早期相談のすすめ

第6章

今すぐ始めたい人のチェックリスト

資金計画
土地探し時の外構チェックポイント
外構会社への事前相談の流れ

第1章

まず最初に知ってほしいこと

なぜ外構のことを忘れてしまうのか？
外構を後回しにしてしまう？
絶対に押さえておきたいポイント

外構を後回しにして後悔… その前に知っておきたい話



家づくりを考え始めたとき、多くの方がまず注目するのは、間取りや収納、キッチンの仕様、外観デザインといった“建物”の話です。もちろん、快適な暮らしをつくるうえで、建物をどう設計するかはとても大切なポイントです。

しかし、その一方で、建物と同じくらい重要でありながら後回しにされがちなのが「外構工事」です。外構とは、門まわり・駐車スペース・庭・アプローチ・フェンスなど、家の外側すべての空間のこと。

日々の暮らしや防犯、家の見た目にまで大きな影響を与えるにも関わらず、

住まいづくりの初期段階で十分に検討されていないケースが非常に多く見られます。

実際に多くの方が、こう口を揃えて言います。

「外構をもっと早く考えておけばよかった…」
なぜなら、外構を後回しにすると、以下のようなトラブルが起こるからです。

- ①建物は完成したのに、外まわりが手つかずで生活が始められない
- ②建物に予算をかけすぎてしまい、理想とは程遠い外構しか実現できない
- ③外構工事がズレ込み、引っ越しのタイミングに間に合わない

なぜ、外構のことを忘れてしまうのか？

外構が計画から漏れてしまうのには明確な理由があります。



理由①ハウスメーカーが外構に触れないから

建物の設計が専門のハウスメーカーや工務店では、外構についての話が出ないことも多く、「引き渡し後に考えましょう」と案内されるケースも。気づけば外構の計画を立てるタイミングを逃してしまいます。

理由②予算の段階で外構費用が後回しになるから

建物に予算を使いすぎた結果、外構に回す費用が残らず、「最低限の工事だけで我慢…」といった後悔が多く見られます。さらに、外構工事が後回しになることで、引越し時期のズレや工事中の安全面にも影響が出ることもあります。



家づくりは

建物＋外構

トータル設計が重要

暮らしの快適さや満足度を高めるには、建物だけでなく外構も含めてトータルで考えることが欠かせません。

次章では、外構を後回しにしたことで実際に起きたトラブル事例をご紹介します。ご自身の家づくりの参考にしてください。

第2章

外構を意識しないと起こるトラブル

～建物が完成しても“快適に暮らせない”現実～



私たちはこの15年間、たくさんの家づくりに
関わってきました。

その中で感じているのは、多くの方が外構予算で
つまずいているということです。

ハウスメーカーの予算を信じて進めた結果、
最後になって「**外構まで手が回らない**」と気づく。

そんな声を、何度も聞いてきました。

ここでは、外構を後回しにしたことで実際に
起こったトラブルをご紹介します。

後悔しないためにも、ぜひ参考にしてください。

外構を後回しにして、できなかったこと。 ——リアルな後悔の4選

1 カーポートができない

雨の日、びしょ濡れで車に乗り込む毎日。
新築時にカーポートを付けたかったAさん。
しかし予算の都合で後回しに。
結果、雨の日は子どもを抱えて車までダッシュ。荷物も服もびしょ濡れに。



2 目隠しフェンスができない

リビングから外が丸見えで、カーテンが開けられない
角地の明るい土地に家を建てたBさん夫婦。
しかし通行人の視線が気になり、カーテンは閉めっぱなしに。
本当は目隠しフェンスを付けたかったものの、予算の都合で断念しました。



3 ウッドデッキができない

家族でBBQを夢見ていたけれど、ただの“段差のある庭”になった
広い庭にウッドデッキを付けてBBQを楽しむ——そんな夢があったCさん。
しかし予算が足りず、庭は土のままに。草は伸び、足元も悪く、家族は庭に出なくなっていました。

4 ライティングができない

夜の庭は真っ暗。防犯も雰囲気も、何もない
夜のライティングに憧れていたDさん。
しかし予算オーバーで照明はカット。
帰宅時に外が真っ暗で不安もあり、玄関の足元も見えづらく、来客から「危ないね」と言われてしまいました。

第3章

今までのお客様のスケジュール

～外構を後回しにした人 vs 同時進行した人～



家づくりは、夢や理想をカタチにしていく大切なプロセス。

でも、その過程で「外構のことをいつ考えるか」で、完成後の満足度には大きな差が生まれます。ここでは、これまでSABANAで実際にあった2組のお客様のスケジュールをもとに、外構を後回しにしたケースと、最初から同時進行したケースを比較してみましょう。

外構計画は 後回しより同時 進行が成功のかぎ

ケース① 外構を後回しにしたAさん

0ヶ月目	土地契約	希望の土地が決まり、売買契約を締結。この段階では「外構」の話は出ず、建物プランや資金計画の話が中心。
2ヶ月目	建物打合せ	建物内部の仕様決めて手一杯。外構業者も未決定のため、駐車場やア動線などの計画ができない。
5ヶ月目	請負契約	仕様が固まり、ハウスメーカーと正式契約。
5.5ヶ月目	着工	ハウスメーカーが建物を優先して工事開始。配管・玄関・勝手口などの位置が確定。この時点で外構の計画を入れても、調整が困難に。
6.5ヶ月目	上棟工事	建物の基礎工事が始まり、配管や電気などのインフラ工事が進行。このタイミングで外構プランを確認したもの、ハウスメーカーの提案は好みに合わず…。
7.5ヶ月目	外構工事打合せ	急いで他社を探すも、想定以上の外構費に驚き、希望のデザインは妥協することに。
12.5ヶ月目	建物引渡し 外構工事契約	地面は砂利のまま、生活動線も悪く、雨の日には足元が泥だらけに。そんな中、感じの良い外構会社と出会い、予算と理想のバランスを取りながら打ち合わせを重ね、ようやく契約へ。
13.5ヶ月目	外構工事着工	建物完成後の外構工事は手間も調整も増加。二度手間となる配管・コンクリート・土間のやり直しも発生。
14ヶ月目	外構工事引渡し	住みながらの不便な生活を経て、ようやく外構工事が完了。

ケース② 外構を同時進行したBさん

0ヶ月目	土地契約 外構工事相談	同時に外構業者にも相談を開始。建物のプランニングと並行。高低差・排水・玄関位置などを踏まえたうえで、建物と外構の全体設計がスタート。
1ヶ月目	建物打合せ 外構工事打合せ	建物と外構のバランスを見ながら設計・予算配分。外構費用も含めた現実的な予算計画ができる。
5ヶ月目	請負契約 外構工事契約	仕様が固まり、ハウスメーカーと外構工事と正式契約。
5.5ヶ月目	建築着工	配管・高低差など外構と連携して施工。外構に関わる配管ルートや高低差処理も事前に調整済み。
11.5ヶ月目	建物完成 外構工事着手	引き渡し直前に外構も着工。スムーズに連携。建物の仕上げと重ならないよう、外構工事も適切なタイミングでスタート。
12ヶ月目	外構工事引渡し	引っ越し当日から車が止められ、玄関までもスムーズに移動。生活動線も快適で、植栽や照明など細部まで計画された住まいに。

Aさんのように建物だけを先行すると、後からの追加費用や不便な生活、デザインの妥協といったリスクが高いです。

一方、Bさんのように建物と外構を同時に計画すれば、

予算・スケジュールを無理なく調整

理想の外構デザインを実現

引っ越し当日から快適な暮らしがスタート

第4章

なぜ、一緒に進めるべきか？

～ “建物だけ” の家づくりでは満足できない理由～



外構を建物と同時に進めると、
どんな良いことがあるのか？
実際に家づくりを経験した人た
ちが「やってよかった！」と感
じる代表的なメリットを
ご紹介します。

merix
1

トータルで調和の 取れた美しいデザイン

建物と外構をバラバラに計画すると、デザインの統一感が失われてしまいがちです。

一方、同時に進めることで…外壁と植栽・門柱・アプローチの色や質感が調和、建物の雰囲気合った“リゾート風”などの世界観が実現可能
家の正面（ファサード）が洗練され、第一印象が格段にアップ
→「まるで海外リゾートのような家」と言われる外観に！



merix
2

排水・高低差など 構造的な計画もスムーズ

建物を建てたあとに外構を設計すると、以下のような問題が生じやすくなります。

排水位置が外構の邪魔になってしまふ。駐車スペースの傾斜が急すぎて使いにくい。土地の高低差処理が後手に回り、追加工事が必要に。
建物と同時に外構も設計すれば、こうした「あとからの手直し」や「無駄な追加費用」を避けられます。



merix
3

引っ越し時にすぐ 快適な生活がスタート

新築工事の完了後、あらためて外構業者を探して打ち合わせをして…
そうしているうちに数ヶ月が経過、というケースも少なくありません。
しかし、あらかじめ外構プランも立てておけば…
建物の工事と並行して外構準備が進む。引っ越しと同時に外構も完成し、すぐに快適な生活がスタート。
→「外構がまだ…」と悩むことのない、理想的な引渡しが叶います！

merix
4

トータル費用が 抑えやすくなる

後から外構を進めようとする、予算がなくなっていたり、分離発注によってコストがかさむことがあります。
建物と一緒に計画することで…
・予算を最初から一括で考えられる
・不要な追加工事が避けられる
・一社でまとめて依頼できるため、コスト効率がアップ
→ 最終的な費用負担を抑えながら、満足度の高い住まいを実現！

外構は“贅沢”ではなく“生活の基盤” "Not a luxury, but the foundation of your life"



暮らしやすさが変わる外構の工夫

外構は、ただの見た目ではありません。実は生活動線や家事効率にも直結しています。

たとえば…

- 駐車場の位置や幅次第で、毎日の車の出し入れがスムーズに
- 宅配ボックスの設置で、不在時も安心＆再配達ストレスが減少
- 家族の帰宅を迎えるライトアップで、夜道も安心＆防犯効果アップ

こうした“ちょっとした工夫”で、暮らしが驚くほど快適になります。



将来のメンテナンス費用にも大きく影響

安易に「あとでいいや」と後回しにした外構は、将来になってから手を加えようとする「想定外の出費」が発生することが少なくありません。

- 植栽の手入れ
- 雑草対策をせず放置 → 年々手入れが負担に
- 駐車場の確保

最初から外構をしっかり計画することで、長く安心して住める環境が整います



第一印象が決まるのは「家」ではなく「外構」

訪れた人が最初に目にするのは玄関でもリビングでもなく、“外構”です。門まわり・アプローチ・植栽・塀・駐車スペースなどが整っているだけで、「きちんとした家」「センスの良い家」として見られます。美しい外構は、家全体の印象をグッと引き上げるのです。



外構が整うと、住まいがもっと“誇らしく”なる

お気に入りの植物がある庭。家族が集まるテラス。玄関先に植えたヤシの木が風にそよぐ風景。外構が整っていると、住まいそのものに愛着が湧き、「この家でよかった」と思える時間が増えていきます。

第5章

家づくりを成功させるための 最適な進め方

～外構も含めて、理想の暮らしを実現するために～

ここまで読み進めてくださったあなたは、
もうお気づきかもしれません。

「建物が完成すれば、家づくりは終わり」
ではないということを。

暮らしの完成＝建物＋外構の調和です。

では後悔のない家づくりを実現するには、
実際にどのような流れで進めるのが
理想的なのでしょうか？

施工店にまず相談

まずは、近くの外構専門店でコンタクト。
建築予定地や住まいのエリアにある信頼できる施工店を見つけましょう。



無料相談スタート

建物と外構をバランスよく設計。
外構費用も含めた現実的な予算計画ができ、
後悔のないスタートに。



資金・返済計画を立てる

住宅ローン・自己資金の範囲を把握。
建物・土地・外構・諸費用まで含めたトータル資金計画を。



請負・外構工事の契約

仕様が固まり、正式契約へ。
ハウスメーカー・外構業者それぞれと本契約を結びます。



建築確認・ローン手続き

必要書類の提出と手続き開始。
建築確認申請、住宅ローン、性能評価制度などを進めます。



建築着工

配管・高低差など外構と連携して施工。
外構に関わる配管ルートや高低差処理も事前に調整済み。



外構工事着手

建物とぶつからないタイミングで外構も着工。
引き渡し直前に合わせてスムーズに施工開始。



外構工事お引渡し

車も停められ、動線も快適。
玄関・駐車場・植栽・照明など、細部まで整った住まいで、
引っ越し当日から快適に暮らせます。

土地購入から
わが家になるまで。
【家づくりのスケジュール】

理想的な予算配分とは？

家づくり全体の予算は、「建物本体」「外構」「諸費用」の3つに分けられます。

外構は、総予算の5～15%程度を見込むのが一般的と言われています。

もちろん、敷地の広さや希望の外構デザインによって変わりますが、建物に予算をかけすぎると外構費用が削られてしまいがちです。

構造部分
30~40%

内装工事
20~30%

設備工事
10~15%

外構工事
5~15%



家づくりの予算配分の目安

建物本体：75～80%

構造・間取り・内装・設備など。

例) 総予算3,000万円 → 約2,250～2,400万円

外構 (エクステリア)：5～15%

造成・駐車場・門まわり・アプローチ・植栽など。

例) 約300～450万円

見た目だけでなく、防犯・動線・使いやすさに直結

その他 (諸経費など)：5～10%

設計費・登記費・地盤改良・引っ越し費用など。

例) 約150～300万円

外構にしっかり予算をかけるメリット

- ✓ 見た目が整い、住まい全体の完成度がアップ
- ✓ 使いやすさ・防犯・プライバシー性が高まる
- ✓ 後回しより、コストを抑えて施工できる
- ✓ 生活動線まで含めた“本当に快適な住まい”に

「家」は建物だけじゃない。「敷地全体」で考えることが、後悔しない家づくりの第一歩です。

第5章

今すぐ始めたい人の チェックリスト

～ “外構込みの家づくり” を賢くスタートするために～

STEP1：資金計画に外構費を組み込む

まずは、「外構費」を含めた資金計画を立てましょ

＼目安：総予算の5～15%／

例：予算3,500万円の家づくり
建物本体：約3,000万円
外構費用：約175～500万円



ポイント：

建物の見積りが出る前に、「外構費の枠」を確保しておく

STEP2：土地探し時の外構チェックポイント

外構のしやすさは、土地の特性に大きく左右されます。
以下の点を、土地選びの時点でチェックしておきましょう。

- 道路との高低差はあるか？
→ 玄関までの階段が必要になる「擁壁・段差・勾配悪化」の可能性
- 排水の逃げは確保できるか
→ 水たまりになりやすい土地は造成費のリスクあり
- 駐車スペースはしっかり取れるか
→ 敷地内での駐車・出入りが難しいと不便
- 日当たりや植栽スペースはあるか
→ 隣家ブロック・塀の陰影でトラブルになるケースも



ポイント：

土地選びの段階から外構の視点があると「見えないコスト」を回避できます。

STEP3：外構業者への事前相談の流れ

外構業者に早めに相談することで、
「そもそも何が必要か？」「いくらかかるか？」を
自分たちでも理解できるようになります。
以下のような流れで相談を進めるとスムーズです。

1. ヒアリング・希望の整理
→ 生活動線・駐車台数・植栽・フェンスなどの希望を言語化
2. 土地・図面の共有
→ 高低差や面積などの条件を一緒に確認
3. 概算見積もり・イメージ提案
→ 大まかな予算感とプランを把握



相談の際に用意するもの | 確かめ方

外構のしやすさは、外構の特性に大きく左右される。
以下のポイントを事前に確認しておきましょう。

□ 住高までの高さが必要？

→ すぐ隣に高い玄関壁がある場合、
片方通行や見通しの悪さ、圧迫感のリスクあり

□ 高木や植栽に勧められるスペースがあるか

→ 風除けや植栽のためのスペースがないと、
後で苦勞する可能性も

□ 建築シミュレーション

→ 建物の配置や窓・玄関の位置と外構動線が連携できているか

□ 初回相談でできることの把握

→ 何を聞いてよいか分からない場合でも、
先に把握しておくことで安心感アップ



初回相談で：外構業者への事前相談の流れ

予算が言えない＝まだ建物の間取りが決まっていないから
早すぎかも？

…と、思われがちですが、
「早すぎる相談こそが、失敗を防ぐ第一歩」です。

会社名：株式会社ココシスグリーン

代表：森 達哉

事業内容：外構・造園設計、管理及び施工

所在地：〒810-0023

福岡県福岡市中央区警固2丁目12-23 ココシスビル1階

電話番号：080-9552-1000

メールアドレス：lee@cocosys-green.co.jp